

## 海外安全対策情報（平成28年1月～3月）

### 1 社会・治安情勢

ベラルーシの治安は、おおむね良好ではあるものの、過去には爆発事件も発生しています。不測の事態を避けるため、多くの人が集まる記念式典やコンサート、集会等においては十分に注意が必要です。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) ベラルーシ共和国内務省が発表した犯罪統計によれば、2015年1月1日から9月30日（2016年1月26日時点での最新情報）までのベラルーシにおける犯罪総数は72,735件で、昨年同時期と比較し3.8%増加しています。未成年者による麻薬犯罪が増加しているとの報道もありますので注意してください。主な犯罪の内訳は以下のとおりです。

|              |                     |
|--------------|---------------------|
| ア 窃盗         | 30,323 件（前年比 1.8%増） |
| （うち住宅対象侵入窃盗） | 8,158 件（同 5.1%増）    |
| イ 公然窃盗       | 1,655 件（同 2.1%減）    |
| ウ 恐喝         | 117 件（同 17.0%増）     |
| エ 詐欺         | 2,851 件（同 11.4%減）   |
| オ フーリガン犯罪    | 2,823 件（同 41.9%増）   |
| カ 殺人及び殺人未遂   | 319 件（同 3.6%減）      |
| キ 重傷傷害       | 653 件（同 8.0%減）      |
| ク 強盗         | 223 件（同 10.4%増）     |
| ケ 強姦及び強姦未遂   | 108 件（同 5.9%増）      |

(2) 邦人被害事案は報告されていません。

(3) 2016年1月～3月における主な被害事案は以下のとおりです(当地の報道から作成)。

ア 1月1日深夜、ミンスク州スモリエヴィチスキー地区ザドムリヤにて、酒に酔った26歳の男と14歳の少年の間で口論が発生し、男が少年に可燃性の液体をかけ、火をつける事件が起こった。少年は体表の30%に及ぶ火傷を負い入院した。犯人は拘束された。

イ 1月27日、ゴメリ州にて、酒に酔った男がバス車内で女性の顔をナイフで切りつける事件が発生した。犯人は、同じバスに乗っていた8歳の少年が、自分に席を譲らなかったことに腹を立て、少年にしつこく付きまとっていたが、少年の母親が注意をしたところ、母親の顔を殴り、ナイフで顔を切りつけた。犯人は停留所で逃走をはかったが、1

時間後には拘束された。

ウ 1月29日、ミンスク市地下鉄「カーメンナヤ・ゴルカ」駅周辺にて、5人の若者グループのうち1人が公共交通機関の停留所のガラスを割っていたところ、それを咎めた男性が同若者グループに暴行された。被害者は主に顔に重傷を負い、病院で治療を受けた。犯人らのうち2人はその場で拘束され、残りの3人も事件後、すぐに拘束された。

エ 2月12日深夜、ミンスク市チュルリュニサ通りに位置する、ベラルーシ国立大学の学生寮にて火災が発生した。760人以上が一時退避したものの、犠牲者はなかった。火災の原因は放火とみられている。

オ 2月17日、ミンスク市にて、カードの不正使用の罪で20歳の男子学生が逮捕された。犯人は夏に、ザヴォツキー地区にあるスーパーマーケットで働いており、その時に顧客のカードを盗撮していた。犯人はその情報を用いて、4ヶ月にわたりオンライン・ゲームの支払いや商品の購入を行っていた。

### 3 テロ・爆弾事件の発生状況

なし。

### 4 誘拐・脅迫事件の発生状況

なし。

### 5 日本企業の安全に関する諸問題

なし。

※上述の事案は全体の一部の情報です。定期的に報道を確認する等し、自身の安全確保に努めてください。